

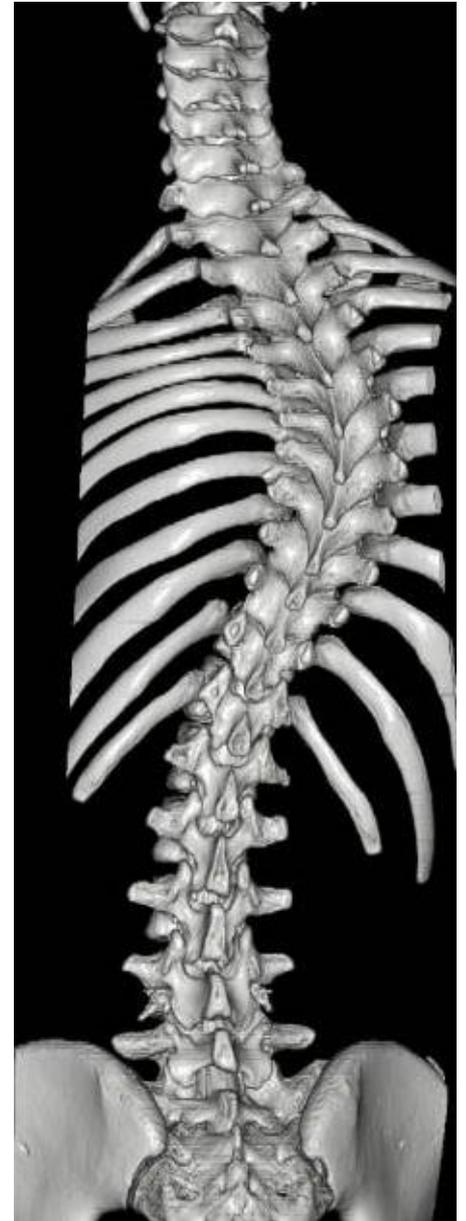
側弯症診の診療対象

- 側弯症
- 後弯症
- 変性側弯症
- 成人脊柱変形
- etc...



側弯とは

- 背骨が曲がった状態をさします。
三次元的な“ねじれ”も生じます。
- 片側の肋骨が背中に出っ張って
“コブ”のように見えたり、左右の
肩の高さのアンバランスが目立っ
たり、ウエストに左右差がでたりし
ます。



側弯症で困ることは

- 変形が進むことが多いこと
- 変形が進行するほど

- 外見の問題
- 呼吸機能の低下
- おとなになってからの背中・腰・足の痛み

いずれも大きくなっていくことです。

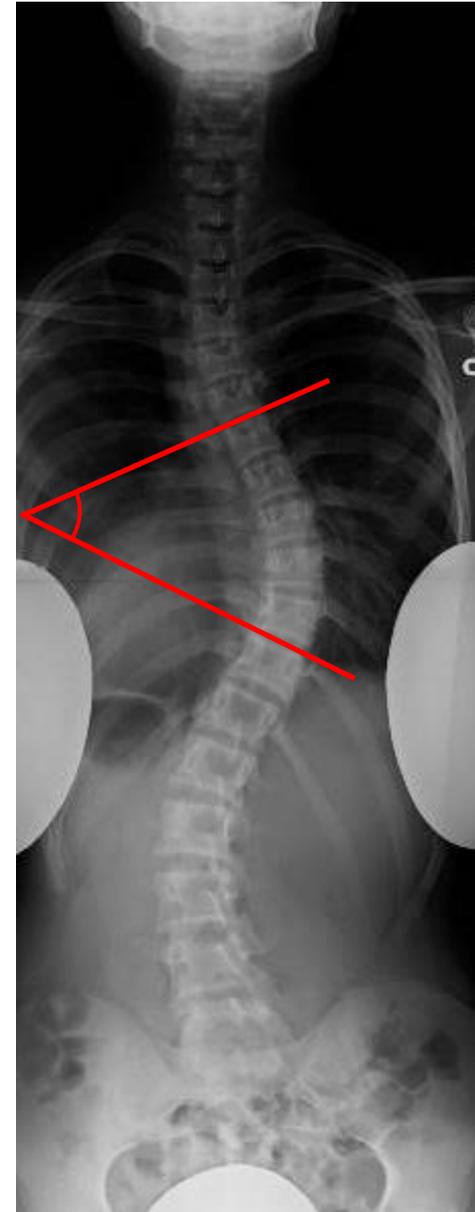
変形の進行は

- 身長伸びに比例しておこります
- 成長期にもっとも進行します。



治療の原則は

- 25° ~ 30° から装具治療
- 40° ~ 50° から手術治療ですが
- 感受性の高い年代であることを考慮しつつ、受験や部活のことも相談しながら、ご両親と本人が納得のいく治療方針を決めていきます。



25° を超える側弯症

- 装具療法を行っています。
- もっとも進行する時期には、20時間以上/日の装具装着をお願いしています。
- 本人のストレスや受け入れ、カーブの大きさなどを考慮して適宜、調整しています。



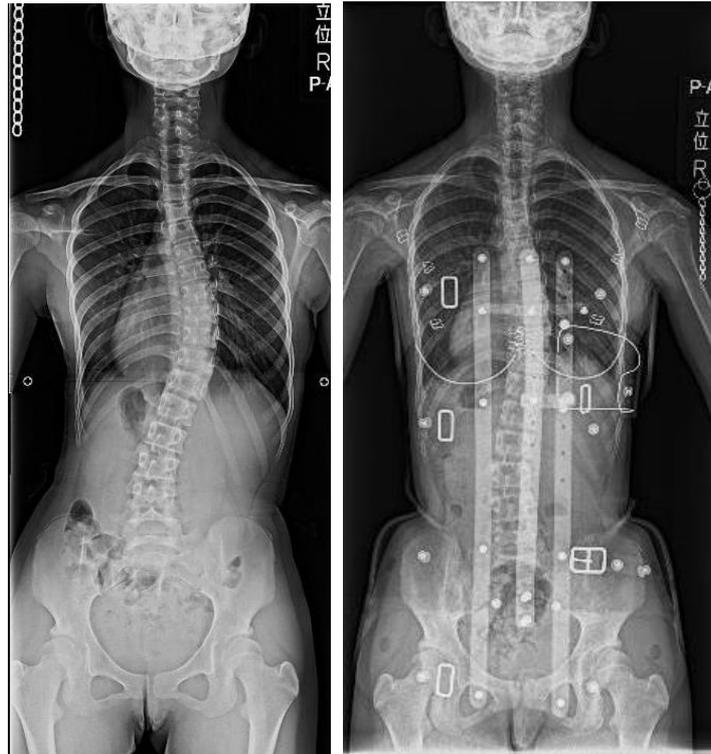
Q. 装具はいつまでやるの？

- 年間の身長伸びが2cm以下
- 初潮から2年以上経過（女兒の場合）
- Risser sign 4以上（腸骨稜骨端核）

→これらの条件を満たしたら、1年程度かけて装具装着時間を漸減していき、終了します。

Q. 装具でカーブは改善するの？

- 原則はカーブの維持（進行予防）です。
- 装具治療中はカーブは少し改善しますが、装具を外すと、もとに戻ることが多いです。



Q. 装具以外に有効な治療はないの？

現状では側弯症の進行予防に有効性が科学的に証明されている(“エビデンスを有する”といいます)保存療法は装具療法のみです。

40° -50° を超える側弯症

- 一生、変形が進行する危険のある側弯です。
- 手術療法をお勧めしています。



側弯症手術の前のながれ

手術 3 ～ 6 か月前

- 手術日仮決定
- MRI検査
- 自己血外来受診

手術 1 ～ 2 か月前

- 自己血外来（2から5回半日）



側弯症手術の入院中のながれ

入院後の予定

- 前日入院
- 0、2日目 鎮痛
- 2、5日目 歩行スタート
- 10日、2週間 退院



より安全な手術を目指して

- 詳細な手術計画
 - MRIやCT検査、3次元モデルの作成
- 自己血輸血
 - 病院輸血部との協力
- 術中回収血輸血
- 術中脊髄モニター
 - 検査部との協力
- 術中ナビゲーション
- 術中CT(Oアーム)

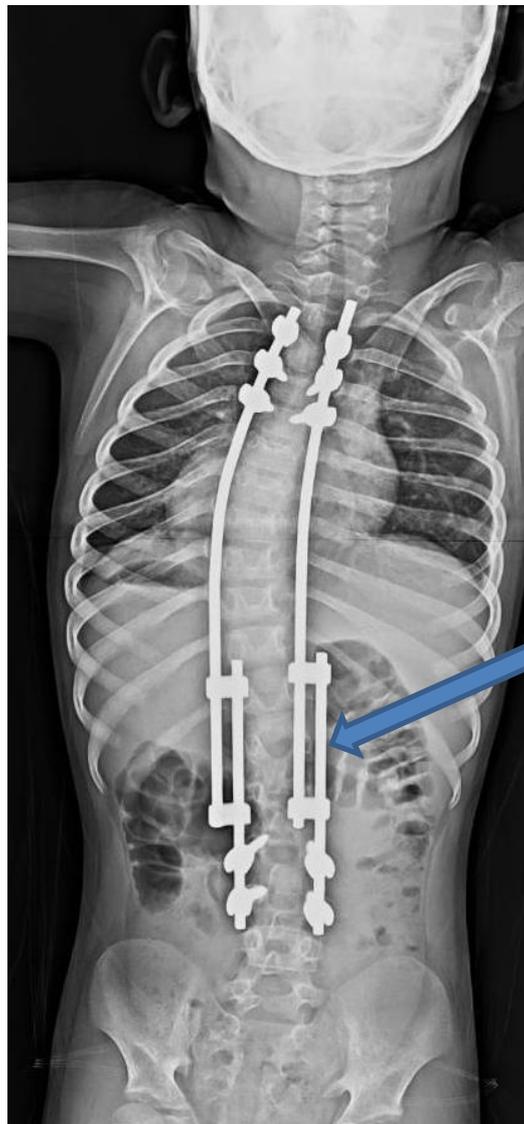
を行っています。



成長余地の大きいお子さんの場合

- グローイングロッドという身長を伸ばしながら側弯症のコントロールを行えることがあります。
- 6ヶ月ごとの延長手術が必要です。
(5日程度の入院・延長手術は1時間程度)

グローイングロッドの手術



ここをずらして
延長します

重度障害児の側弯症の治療

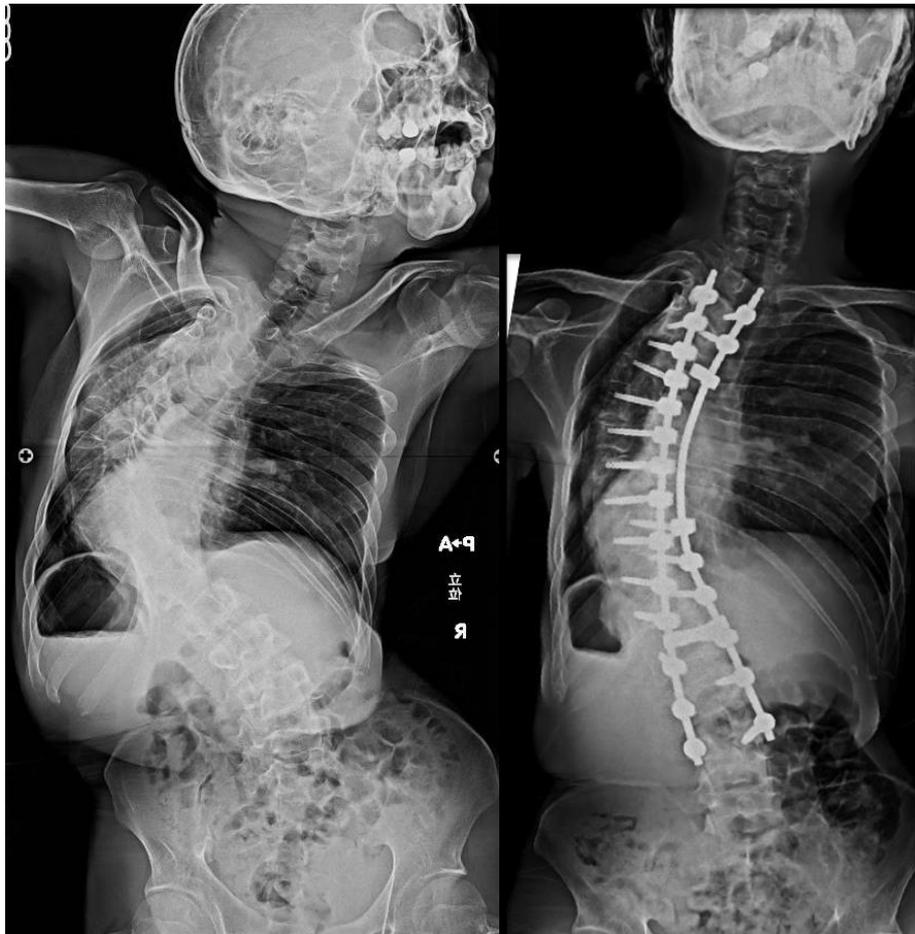
- 側弯症は様々な疾患に合併します。
- 入念な全身管理を要する重度心身障害児の治療にも対応しています。
- 手術のメリット・デメリットを十分に相談したうえで適応がある症例には手術も行っています。

<代表的疾患>

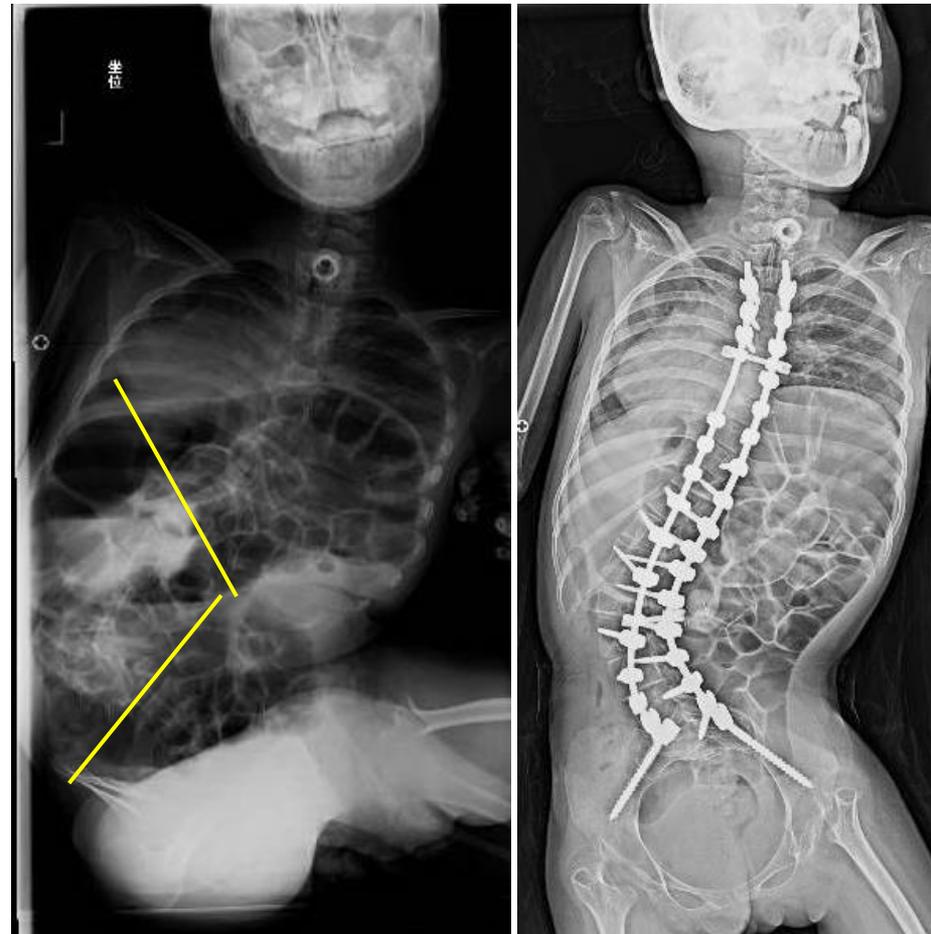
脳性麻痺、脳症後後遺症症例、難治性てんかん 他

重度障害児の側弯症の治療

〈脳性麻痺〉



〈脳症後遺症〉



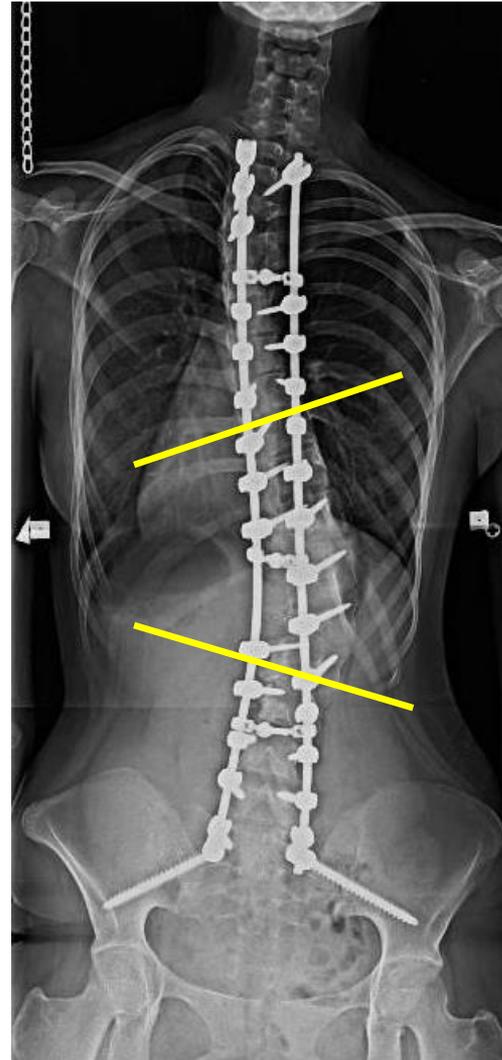
マルファン症候群の側弯症

東大病院では診療科横断的なマルファン症候群センターが設置されているため、日本全国からマルファン症候群の方がいらっしゃいます。

マルファン症候群の側弯症治療では豊富な治療実績を有しています。



マルファン症候群の側弯症



成人脊柱変形

- 変性側弯症や圧迫骨折後の後弯症などです。
- 成人、とくに中年以降の女性に多く生じます。

- 痛み
- 逆流性食道炎
- 前が見えない

など多くの障害をもたらすことがわかっています。

成人脊柱変形の手術治療

- 変形や症状が強い場合には手術が最も効果が高いことがわかっています。
- 大きな手術なので十分な準備が必要です。

成人脊柱変形の手術治療



〈術前〉

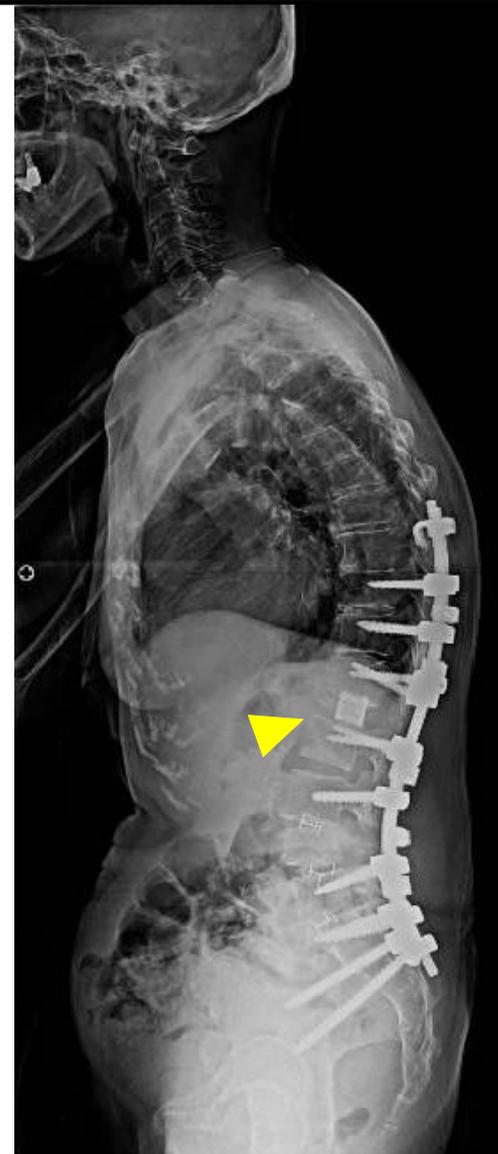


〈術後〉

圧迫骨折後後弯症の手術



〈術前〉



〈術後〉

側弯症専門外来

- 毎週木曜日
 - ― 装具の作成も木曜日になります
- 詳しくは予約センターでご確認ください
 - ― 予約センター
 - (土、日、祝日を除く)
 - 電話：03-5800-8630
 - ※予約は受診日の2日前までです。

東大病院の脊柱変形治療

- 外来患者数
 - 2012年 のべ1、100人
- 手術数
 - 2018年度 49件
 - 2019年度 65件
 - 2020年度 45件
 - 2021年度 60件
 - 2022年度 59件



文責：谷口優樹